

広域振興局長

提出者 株式会社ユアテック 岩手支社  
 住所 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ4-10-53  
 氏名 常務執行役員支社長 渡辺 政道

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

## 地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

## 1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	岩手支社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	盛岡市みたけ4-10-53	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	該当しない kJ	*施設番号	
自動車の使用台数	356 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

## 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
盛岡営業所	〒020-0122 盛岡市みたけ4-10-53	該当しない kJ
二戸営業所	〒028-6101 二戸市福岡字八幡下12	該当しない kJ
久慈営業所	〒028-6101 久慈市新井田3-202-2	該当しない kJ

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業場用)  
1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO <sub>2</sub> )	前年度の排出量 (D) (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比 (%) (D-C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
揮発油	240 kℓ	214	2.32 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	557.2	527.0	6		
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
灯油	10 kℓ	9	2.49 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	24.9	37.3	▲ 33		
軽油	144 kℓ	140	2.58 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	371.5	376.7	▲ 1		
A重油	kℓ		2.71 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t	3.00 t-CO <sub>2</sub> /t					
	石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>	2.34 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t	2.70 t-CO <sub>2</sub> /t					
	その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>	2.22 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
石炭	原料炭	t	2.61 t-CO <sub>2</sub> /t					
	一般炭	t	2.33 t-CO <sub>2</sub> /t					
	無煙炭	t	2.52 t-CO <sub>2</sub> /t					
石炭コークス	t		3.17 t-CO <sub>2</sub> /t					
コールタール	t		2.86 t-CO <sub>2</sub> /t					
コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.85 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
高炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.33 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
転炉ガス	千m <sup>3</sup>		1.18 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
その他の燃料	都市ガス	千m <sup>3</sup>	2.23 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
	( )	( )	t-CO <sub>2</sub> /( )					
	( )	( )	t-CO <sub>2</sub> /( )					
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
小計		363		953.6	941.0	1		
電気	電気事業者	昼間買電	787 千kWh	202	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	384.1	226.2	70
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	千kWh					
		夜間買電	467 千kWh	112	0.488 t CO <sub>2</sub> /千kWh	227.9	241.6	▲ 6
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計		1,254 千kWh	314	612.0	467.8	31		
合計			677	1,565.6	1,408.8	11		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		0 千kWh		t-CO <sub>2</sub> /千kWh				
合計								

- 備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
- 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
- 3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。
- 4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「( )」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。
- 5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

## 2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

## 3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

別紙 その2 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (R 4年度)

燃料別	自動車		二酸化炭素の排出		燃料使用 量対前年 度比(%)
	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	226 ( 48 )	240 ℓ	2.32 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	556.8 kg-CO <sub>2</sub>	6
軽油	78 ( )	144 ℓ	2.58 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	371.5 kg-CO <sub>2</sub>	-1
LPG	( )	kg	3.00 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気	4 ( )	kWh	0.488 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>	
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	308 ( 48 )			928.3 kg-CO <sub>2</sub>	

備考1 保有台数欄の ( ) には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和3年度を基準として、燃料使用量を毎年5%削減の目標を掲げて取り組みを進めてきたが、HV車への変更等のため、ガソリンの目標を達成できなかった。軽油は横ばいで目標を達成することが出来なかった。今後も、下記のさらなる取り組みの継続が必要と考えている。

【具体的な取組状況】

- 1、車両更新時に、ハイブリット車または低燃費車の導入を図った。(HV車前年度36に対し48、電気車4)
- 2、エコドライブを推進した。(急ハンドル・急ブレーキ・急発進をしない)
- 3、車両運行予定表を作成・実行し、輸送の効率化を図った。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項